

一秒でも早く助けたい命がある！

救急車の適正利用を考えよう ～救急車 必要なのはどんな時～

問 衣浦東部広域連合消防局消防課 ☎63-0135

救急車で搬送された人の約半数が入院を必要としない軽症です。本来、救急車を利用する必要がなかった人もいる可能性があります。

救急車や救急医療は限りある資源

症状に緊急性がなくても、「交通手段がない」「どこの病院に行けばよいか分からない」「便利だから」「優先的に見てもらえる」「診察時間外だから」と救急車を呼ぶ人がいます。また、日中は用事があるなどの理由で救急外来を夜間や休日に受診する人もいます。救急車を呼ぶ前に本当に必要か考えましょう。

こんな時は すぐに119番！

・意識がない（返事がない） ・呼吸がない ・けいれんが止まらない ・突然の顔や手足のしびれ など

判断に迷ったときは

▼救急医療情報センター（24時間対応） ☎36-1133

症状に見合った最寄りの適切な医療機関を紹介します。

▼小児救急電話相談（毎日19時～翌朝8時） ☎#8000 又は ☎052-962-9900

小児科医師・看護師が子どもの症状に応じた適切な対処の仕方や受診できる病院などのアドバイスをします。

▼総務省消防庁 全国版救急受診アプリ「Q助」案内サイト

緊急度判定を支援し、医療機関や受診手段の情報を提供するアプリです。



災害 そのとき どうなるの??

台風時の避難所について

問 防災課防災計画係 ☎95-9874

▼台風時は以下の避難所から開設していきます

文化会館、新川公民館、大浜公民館、鷺塚公民館、西端小学校

被害が拡大する恐れがある場合は、その他の避難所も順次開設します。安全な親戚・知人宅等への避難が可能な場合は、そちらへの避難を優先してください。

▼避難所開設の情報について

市ホームページ、へきなん防災メール、ケーブルテレビキャッチ、Pitch FM（83.8MHz）

※携帯電話などを持っていない人を対象に、固定電話に防災情報を配信するサービスも実施しています。詳しくは防災課地域防災係（☎95-9875）へ問い合わせてください。

▼へきなん防災メールに登録してください

市からの防災情報を、メールで直接受け取れます。登録は無料ですが、メール受信にかかる通信料は利用者負担です。迷惑メール機能を使用している場合、登録前にhekinan-city@raidan.ktaiwork.jpからのメールを受信できるように設定してください。以下の2次元コードを読み取るか、各アドレス宛に空メール（件名、本文不要）を送信し、返信される仮登録完了メールから本登録してください。

●日本語

bousai.hekinan-city
@raidan.ktaiwork.jp



●やさしい日本語

yj-bousai.hekinan-city
@raidan.ktaiwork.jp



▼避難時に必要な物は各自で持参してください

市が避難所に用意している備蓄品は、南海トラフ地震などの大規模災害に備えたものです。そのため、一晩で大きな被害がなく通り過ぎる台風においては、市の備蓄品は原則配布しません。

例：飲料水、食料、座布団、毛布、携帯電話、常備薬、オムツなど